



こんなことが出来ます!

県産材(スギ厚板、ヒノキ片)をふんだんに使った、木の香りのする木造住宅用の耐力壁を開発しました。

【従来の問題点】

化粧目的でスギ板を横向きに張った壁は、地震や風などの横方向の力に弱い。スギ板を木小片(ダボ)で連結することで、板の横ズレに抵抗できるが、耐震性能は安定しなかった。

【解決したポイント】

壁材料(スギ厚板、ヒノキ片)を、強度や密度で選別し使用することで、耐震性能の安定化に成功。さらにこの試験結果を用いて、壁倍率が国土交通大臣認定の2.2倍を取得(H29.4.13)し、新築住宅の耐力壁として使用できるようになりました。

技術の概要

今回認定を受けた耐力壁は、厚さ3cmのスギ板(縦21cm、横182cm)を、ヒノキダボ(ヒノキ片)と釘で連結して壁にしたもので、安定した耐震性能を発揮するとともに、地震や風などの横方向の力を受けるとヒノキ片が抵抗しながら変形して揺れの力を吸収し、壁の破壊を防ぐものである。

図・写真



開発者からのメッセージ

今回開発した「スギ厚板耐力壁」は、スギ厚板とヒノキダボがそのまま意匠となり、木の風合い・香り・手触りを楽しむことができる壁です。是非、木造住宅の耐震部材の一つとしてご活用ください。

連絡先

- 1) 所属／鳥取県林業試験場
- 2) 担当者名／木材利用研究室 主任研究員 森田 浩也
- 3) 電話番号／0858-85-6221
- 4) E-mail／moritahr@pref.tottori.lg.jp

適用分野、アイデア

耐力壁として、新築住宅への施工や耐震リフォーム、被災後の改修に活用できます。